

21世紀を翔る

目で見ると 富山大学の50年

Toyama University from 1949-1999 : a pictorial portrait



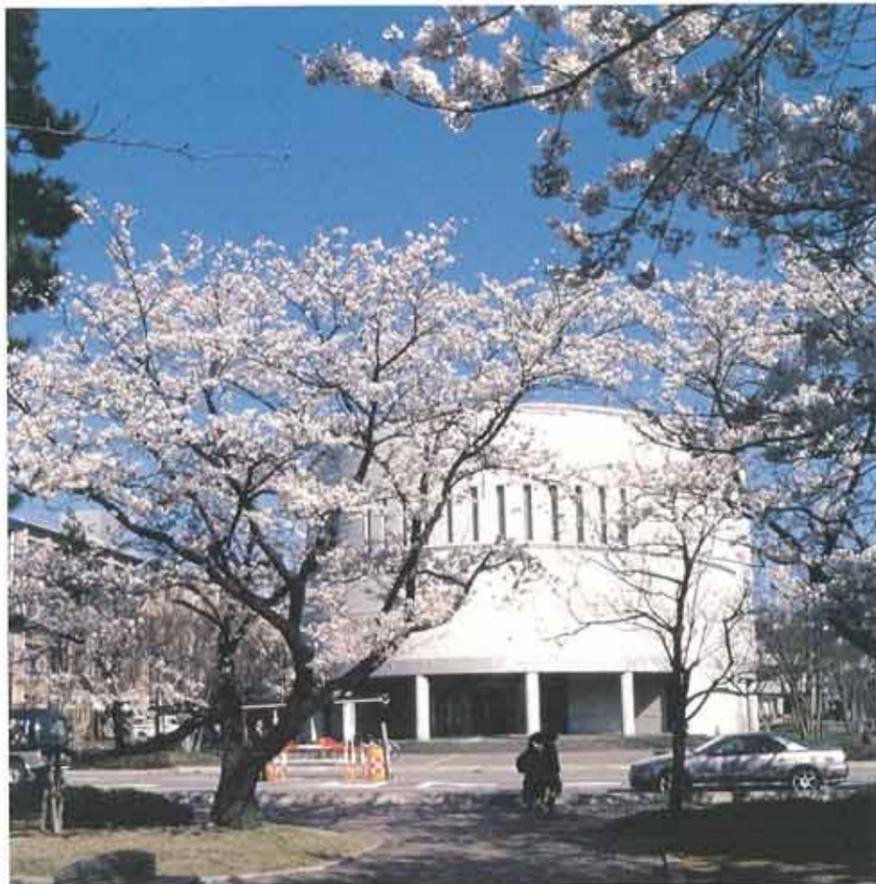
富山大学開学50周年記念写真集

21世紀を翔る

目で見ると 富山大学の50年

Toyama University from 1949-1999 : a pictorial portrait

富山大学開学50周年記念写真集



本学のシンボル建物 黒田講堂
(1989.11.28竣工)

目次 CONTENTS

ごあいさつ	4
富山大学長 時澤 貢 富山大学開学50周年記念事業 後援会長 本多正道	
写真(年表を含む)	6
統計	30
写真・資料提供協力	31
あとがき	32

1963年頃の五福キャンパス全景

富山大学歌

(一九六四・一〇・二七歌詞制定)



六角形の雪の結晶に大学の
全文字を浮かべた校章
(1950.9.22完成)



正門の銘板
(1957.12.15完成)

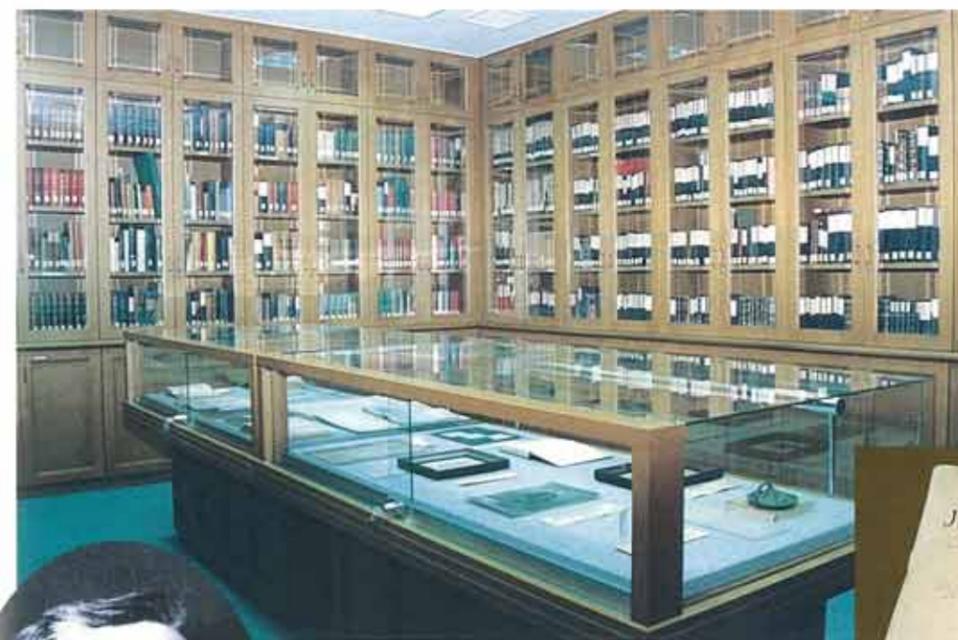
一、太刀山の巖に立ちて睥睨す
かの神鷲の怒れる眼 張れる翼
疾風を捲き 空谷にこだまし
その翔ぶや虚空の涯
無限を目指し 無明をひらく

二、北海の潮の上に光耀す
この月影の麗し面輪 笑まふ瞳
中天に澄み 空際のみなぎり
その照るや久遠の光
沈黙をきはめ 思索を深む

三、高志の野の央らを占て聳え立つ
富山大学花咲く知性 競ふ科学
客観を知り 典籍にまなびて
その往くや理想の彼方
真理をもとめ 平和をこがる



菊地靖雄・作詞
森川勝彦・作曲



国際的にも貴重なヘルン文庫
(1924.6.10設置 附属図書館 5階別置)



ラフカディオ・ハーン (1850~1904)
日本に帰化して小泉八雲と称した。
ラフカディオ・ヘルンともいう。



ラフカディオ・ハーン著の「神国日本」
の手書き原稿
(ヘルン文庫所蔵 1904年出版)



正門からみた富山大学キャンパス

富山の文化を世界に 豊かな科学技術で環日本海未来創造を



富山大学長
時澤 貢

社会と共栄する学術研究の推進、地域社会や国際社会への貢献を目指して

富山大学は、栄えある前身校の伝統を受け継ぎ、昭和24年5月、文理学部、教育学部、薬学部及び工学部の4学部からなる新制大学として創設され、本年開学50周年を迎えました。開学以来、本学は卒業生並びに地域の方々など関係各位のご支援をいただいたお陰で、現在5学部、4大学院研究科を擁する総合大学として発展してまいりました。衷心より感謝いたします。

私達は、たゆみない自己点検・評価を重ねたうえ、本学先学の功績を礎にして、目下、来る21世紀の大学像を目指して、大学改革に取り組んでおります。

その中でとりわけ、学術研究の推進については、研究者の自主性・自立性を重んじながら、その社会的責任の自覚のもとに未来を切り拓き、また、地域社会や国際社会への貢献については、知的活動の中心として、地域との連携協力を促進すると同時に、環日本海地域をはじめアジア・欧米諸国等との学術・文化に関する国際交流を積極的に推進したいと考えております。

富山大学が開学50周年を迎えた今、皆様とご一緒に富山大学の歩みを回顧するとともに新しい大学像を展開するための資料として活用いたしたく、写真集を発行いたしました。今後とも、富山大学発展のため、ご支援ご協力を賜りますよう、切にお願いする次第であります。



富山大学開学50周年
記念事業後援会
会長 本多正道

教育・文化・産業の発展の拠点、国際交流活性化の推進を期待

富山大学が、平成11年5月に、めでたく開学50周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

富山大学は、昭和24年に新制大学として発足して以来、4万余人の卒業生を送り出し、これら卒業生は、社会の各界各層で活躍しておられます。また、地元企業との共同研究で多くの輝かしい実績を上げておられるとともに、地域社会をはじめあらゆる領域において、永年に亘り多大なる貢献をなされたことに対し改めて敬意を表します。

私共が21世紀を目前にして、将来の富山大学に大いに期待したいことは、開学50周年という記念すべき年を機に、更なる研鑽を積み、地域に根ざし開かれた大学として、教育・文化・産業の発展のためにイニシアチブをとり寄与されるとともに、国際化が進展する中で、諸外国の大学との間で教育・学術研究等の交流を一層推進し、真にグローバル・スタンダードに値する大学として、力強く邁進されることを祈念するものであります。

本学のあゆみ ■ 1949[昭和24]~1953[昭和28]

- 1949. 5.13 富山大学として初めての入学願書受付(～26日)
- 5.31 国立学校設置法(昭和24年法律第150号)により、富山大学は富山高等学校、富山師範学校、富山青年師範学校、富山薬学専門学校、高岡工業専門学校を包括して設置され、文理学部、教育学部、薬学部、工学部の4学部を置く
- 6.15 富山大学入学試験を実施(～18日)
- 7.15 第1回入学式挙(於文理学部講堂)
- 7.16 鳥山喜一、初代学長に就任
- 7.29 常陸宮(義宮正人親王の頃)の御来学
- 1950. 1.20 富山大学学則を制定
- 7.10 文理学部吉田・佐伯両助教授及び教育学部吉田講師の三氏が文部省米国派遣留学教官として出発
- 8. 4 富山大学後援会創立総会
- 9.22 開学記念祭(～24日)
- 1951. 9.16 立山研究室(立山観測所から移管)を開設
- 9.23 天野文部大臣来学
- 1952. 4. 6 初めて沖縄留学生(2人)が入学
- 1953. 3.29 第1回卒業式挙(於文理学部講堂)
- 5.17 深井教育学部講師が伊折上流で全国初の氷河礫を発見
- 6. 8 富山大学と富山市教育委員会との共催で市民大学を開設
- 7.28 富山市、高岡市の両市が富山大学経済学部設置問題で第1回協議会
- 8. 1 文理学部経済学科が独立し経済学部を設置
- 12. 1 石原寅次郎、学長に就任



旧文理学部本館(蓮町) 1949年頃



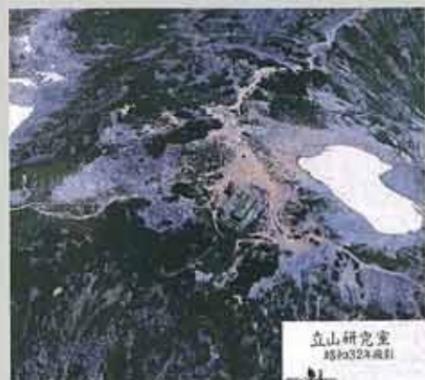
薬学部前身校の富山薬学専門学校(奥田) 1945年8月戦災



「高岡高等商業学校」の正門銘板(1964年富山大学十五年史より)



「富山大学設置に関する調書」 1948年



立山施設(旧立山研究室)上空写真 1998年7月撮影



立山研究室全景 1957年撮影



御来学の常陸宮(当時義宮正人親王) 1949年7月



富山大学教育学部及び富山大学富山師範学校(西田地方)の正門 1949年頃



教育学部校舎(五福) 1949年頃



旧工学部正門及び本館(右)・講堂(左)(高岡) 1949年頃



入学式(於旧文理学部講堂) 1953年4月



大学要覧(1952年)と
文理学部規程(1951年)



旧大学本部(奥田)前の記念写真 1952年頃



旧文理学部(蓮町)内の学生 1950年代

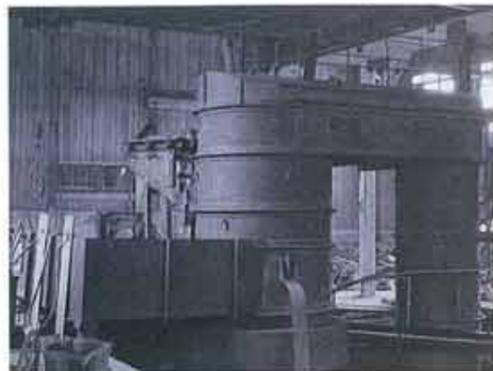
社会の出来事

- 1949. 1.12 教育公務員特例法公布
- 1.20 日本学術会議創立
- 1.31 新制大学の進学適性検査を全国一斉に実施(1954年度まで)
- 3. 7 来日中のドッジ特命公使が経済安定策(ドッジライン)を公表
- 5.31 国立学校設置法公布(新制大学制度発足)
- 8. 9 小平邦彦東大助教授が米プリンストン高等学術研究所に招かれる「頭脳流出第1号」
- 10. 1 中華人民共和国成立
- 11. 3 湯川秀樹にノーベル物理学賞
- 1950. 6.25 朝鮮戦争勃発
- 7.13 国立大学協会設立
- 7.21 富山県営野球場完成
- 1951. 9. 8 対日講和条約、日米安保条約調印
- 1952. 6. 6 中央教育審議会設置
- 7.19 第15回オリンピック・ヘルシンキ大会、日本は戦後初出場
- 1953. 3.31 12国立大学に新制大学院設置
- 5.24 富山県日中友好協会設立

1954~1958

本学のあゆみ ■ 1954[昭和29]~1958[昭和33]

- 1954. 7. 7 富山市教育委員会との共催で富山大学開学5周年記念文化祭
- 1955. 1.15 富山大学学報の創刊
- 3 薬学部に全国唯一の滅菌実験室を完備
- 5.28 第1回大学祭（～6月12日）
- 7. 1 工学部に機械工学科を設置
薬学専攻科を設置
- 8. 6 森棟工学部教授らの画期的な製鉄法が実用化
- 8.28 石井教育学部教授が立山剣沢において公務死亡
- 9. 1 学生相談所を開設
- 1956. 7.19 経済学部及び附属図書館新校舎が五福に竣工
- 1957. 4. 1 経済学部及び附属図書館が新校舎に移転
- 5.30 第1回評議会
- 11. 3 黒田講堂が竣工
- 11.29 松永文部大臣来学
- 12. 1 梅原眞隆、学長に就任
- 1958. 1. 1 経済学部北陸経済研究所を発足
- 6.17 本部庁舎が五福に竣工
- 6.20 事務局、学生部が新庁舎へ移転
- 10.19 瀧尾文部大臣来学
- 10.21 昭和天皇皇后両陛下の御来学



旧工学部製鉄製鋼実験室（1964年富山大学十五年史より）



経済学部校舎 1956年頃



旧黒田講堂（1964年富山大学十五年史より）



附属図書館（1964年富山大学十五年史より）



御来学の昭和天皇皇后両陛下 1958年10月



本部庁舎 1958年頃



講義室内で昼食をとる学生 1957年頃



文理学部理学科の卒業発表 1957年



第1回全日本バレーボール大会出場（京都、岡崎公園） 1954年7月



神通大橋の橋脚流失時の仮橋 1954年1月

社会の出来事

- 1954. 3. 1 第五福竜丸、ビキニ環礁水爆実験で被災
- 9.18 ソ連の核実験の影響で、日本海沿岸各地に放射能の雨
- 1955. 4.14 富山市で全日本チンドン・コンクール開催
- 1956. 1.26 第7回冬季オリンピック（北イタリア・コルチナ）で猪谷千春、日本に初めてのメダル
- 3.24 日本学士院法公布
- 5. 9 日本登山隊マナスルに初登頂
- 6.30 富山交響楽団、結成披露演奏会を開催
- 7.17 経企庁が経済白書を発表、この白書にあった「もはや戦後ではない」が流行語となる
- 10.22 文部省、大学設置基準を公布、施行
- 11. 8 第1次南極予備観測隊、「宗谷」で東京港出発
- 12.18 国連総会、日本の国連加盟を承認
- 1957.10. 4 ソ連、人類初の人工衛星「スプートニク1号」打上げ成功
- 1958.10.19 第13回国民体育大会秋季大会富山県で開催
- 12.23 テレビ時代を象徴する東京タワー完成



富山大学概要 昭和30年度



「富山大学概要」表紙の変遷（1955年から10年毎）



第13回国体富山県実行委員会からの感謝状 1958年11月



大学祭 1950年代



富山駅前第13回国体モニュメント 1958年頃



2000年とやま国体メイン会場「総合運動公園陸上競技場」1999年1月撮影

本学のおゆみ ■ 1959[昭和34]~1963[昭和38]

- 1959. 4. 1 経済学専攻科を設置
工学専攻科を設置
経営短期大学部を併設
- 5.10 経営短期大学部第1回入学式挙
- 10.25 附属図書館が「富山大学ヘルン文庫所蔵ヘルン関係文献解説付目録」を刊行
- 1961. 1. 6 山岳部冬期合宿で立山連峰赤谷山(2,258m)登頂の際遭難、赤谷山頂付近で2人の遺体を発見、全員(12人)の生存の望み断たれる
- 5.13 赤谷山遭難学生の慰霊祭(於黒田講堂)
- 12.20 薬学部教授横田嘉右衛門、学長に就任
- 1962. 2.13 学生歌発表
- 3.15 文理学部新校舎が五福に竣工
- 3.20 経営短期大学部第1回卒業式挙
- 3.31 文理学部が新校舎へ移転
- 8.10 奥黒部・有峰第1次学術調査団(団長:小笠原文理学部教授)、貴重な成果をあげ下山(〜20日)
- 11.30 内田経済学部教授日本学術会議会員に当選
- 1963. 4. 1 工学部に生産機械工学科を設置
大学院薬学研究科薬学専攻(修士課程)を設置
薬学部附属和漢薬研究施設を設置
経営短期大学部に事務部を設置
- 7.13 荒木文部大臣来学
- 9.25 体育館が竣工



経営短期大学部第1回文化祭 1962年



来学の荒木文部大臣 1963年7月



赤谷山遭難学生の慰霊祭 1961年5月



文理学部校舎 1962年頃



学部での卒業証書授与 1960年代



空手部演武会 1961年頃



日本学生柔道優勝大会出場 1963年頃



運動会 1960年代



大学祭 1961年頃



大学祭 1960年代



寮生活 1963年頃



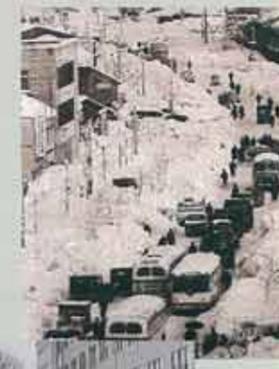
開港当時の富山空港 1963年頃



国際便が駐機中の富山空港 1999年2月撮影



38豪雪 1963年1月



社会の出来事

- 1959. 4.10 皇太子御結婚、カラーテレビが大幅に普及
- 1960. 1.19 日米新安保条約、新行政協定調印
- 6.15 全学連が国会突入、東大生権美智子死去
- 9. 5 池田首相、高度成長・所得倍増計画等を発表
- 1961. 4.12 ソ連、世界初の有人宇宙船「ボストーク1号」打上げ成功、ガガーリン少佐の帰還第一声「地球は青かった」
- 6.18 有峰ダム完成
- 9. 6 文部省、理工系大学生を1964年度までに2万人増募する計画を決定
- 1962. 2.20 米、有人宇宙旅行に成功
- 8.12 堀江謙一、小型ヨットで単独太平洋横断
- 8.30 戦後国産初の旅客機「YS11」のテスト飛行成功
- 9.12 東海村の原子力研究所、純国産第1号研究用原子炉に点火
- 10.22 キューバ危機
- 1963. 1.16 東京に能力開発研究所設立
- 1.29 「38豪雪」で死者、行方不明者富山県内で16人



- 6. 5 黒部第四ダム完成
- 8.20 富山空港開港
- 11.16 第1回能研テストを実施
- 11.22 ケネディ米大統領暗殺

本学のあゆみ ■ 1964[昭和39]~1968[昭和43]

- 1964. 3.30 薬学部新校舎が五福に竣工、移転
- 10.27 大学歌の歌詞制定
- 10.31 開学15周年記念式典挙行
富山大学15年史刊行
第1回職員文化展（～11月5日）
- 12.10 計算センターが竣工
- 1965. 3.10 新樹寮が竣工
- 3.11 放射性同位元素総合実験室が竣工
- 3.15 計算センターを設置
- 3.19 修士第1回学位授与
- 3.20 運輸省の委託により文理学部地学研究室が県下の埋没林を調査、年代が判明
- 3.30 学生会館が竣工
- 4. 1 工学部に化学工学科を設置
- 9.27 富山大学と東京大学海洋研究所が富山湾海洋合同調査（～10月3日）
- 1966. 3. 6 薬学部附属和漢薬研究施設が竣工
- 3.30 教育学部附属小学校校舎が竣工
- 4. 1 薬学部製薬化学科を設置
教育専攻科を設置
- 10. 3 文部省共済組合富山大学支部診療所を設置
- 1967. 3.30 教育学部新校舎が竣工
- 4. 1 文理学部改組により教養部を設置
教育学部に養護学校教員養成課程を設置
大学院工学研究科電気工学専攻、工業化学専攻、金属工学専攻及び機械工学専攻（修士課程）を設置
- 5.13 体育会主催による第1回全学運動会
- 9. 9 教養のための県民講座の開設（～10月28日）
- 1968. 3. 1 日本学術振興会から富山大学北アルプス学術調査団（団長：深井教育学部教授）に秩父宮記念学術賞
- 3.30 教育学部附属中学校校舎が竣工
- 4. 1 工学部に電子工学科を設置
大学院工学研究科に生産機械工学専攻（修士課程）を設置



開学15周年記念永年勤続者表彰
1964年11月



「富山大学十五年史」



学生会館 1965年頃



薬学部附属和漢薬研究施設 1966年頃



自動車部 1964年頃



薬学部新校舎 1964年頃



新樹寮 1965年頃



教養部校舎 1967年頃



計算センター
(1965年4月15日付北日本新聞より)



放射性同位元素総合実験室 1965年頃



教育学部新校舎 1967年頃



ゼミ旅行 1960年代



大学祭 1960年代



社会の出来事

- 1964. 3.19 東大、科研テストは当分の間、入試の資料にしないと発表
- 4. 1 富山工業高等専門学校開学
- 4. 3 国立学校特別会計法公布
- 10. 1 東海道新幹線、東京・新大阪間開通
- 10.10 第18回オリンピック東京大会開催
- 1965. 2. 7 米、北ベトナムを爆撃
- 3.18 ソ連、人類初の宇宙遊泳に成功
- 12.10 朝永振一郎（日本学術会議会長）にノーベル物理学賞
- 1966. 3. 1 ソ連の金星3号初めて金星に到着
- 5.16 中国、文化大革命が始まる
- 6. 2 米、月面軟着陸に成功
- 1967. 6. 1 富山商船高等専門学校開学
- 9.10 学術審議会設置
- 1968. 1.17 エンタープライズ寄港阻止で反日共系学生と警官隊とが衝突
- 3.28 東大紛争、全学共闘委学生ら安田講堂を占拠
- 4.21 富山新港開港
- 5. 8 国がたいはい病を公害病に認定
- 6.26 小笠原諸島、正式に日本復帰
- 8. 8 札幌医大で初の心臓移植手術
- 10.17 川端康成にノーベル文学賞
- 12.10 3億円強奪事件発生

本学のあゆみ ■ 1969[昭和44]~1973[昭和48]

- 1969. 2.10 武道場が竣工
- 3.15 液体窒素製造装置室が竣工
- 3.20 黒田講堂での卒業式中止、各学部ごとに卒業証書授与
- 3.23 昭和44年度入学試験を学外5高等学校において実施（～25日）
- 3.30 教育学部附属幼稚園園舎が竣工
- 4. 1 大学院工学研究科に化学工学専攻（修士課程）を設置
- 4. 9 学生により占拠されていた建物の封鎖解除のため、本学に県警機動隊が入る
- 6.13 後藤秀弘、学長に就任
- 1970. 4. 1 大学院薬学研究科に製薬化学専攻（修士課程）を設置
- 1971. 4. 1 理学専攻科を設置
- 1972. 1.21 加藤教育学部助教授が本学最初的女性教授となる
- 3. 9 富山大学を中心に「北陸と対岸アジアとの交渉学術調査団」（代表：高瀬文理学部教授）結成、日本海の貿易興亡史について調査
- 3.31 体育会ヨット部14人春季合宿中氷見市阿尾海岸において転覆・漂流、富山商船高等専門学校の救助艇及び漁船3隻が救助
- 4. 1 教育学部に幼稚園教員養成課程を設置
- 12.20 附属図書館が竣工
- 1973. 2.21 経済学部北陸経済研究所を「日本海経済研究所」に改称
- 4. 1 文学専攻科を設置
大学院工学研究科に電子工学専攻（修士課程）を設置
- 4.12 薬学部附属薬草園を設置
- 6.13 教育学部教授林勝次、学長に就任
- 10.29 奥野文部大臣来学
- 10.30 大学食堂が竣工



武道場 1969年頃



日本海経済研究所と刊行物
1973年頃



薬学部附属薬草園 1970年代



北陸三県大学芸術祭 1969年頃



ヨット部練習風景 1969年頃



大学食堂 1973年頃



学園紛争（1968～9年頃）学生デモ



学園紛争（1968～9年頃）機動隊出動



市内纜車線の夜景 1971年頃



電話交換室 1969年頃

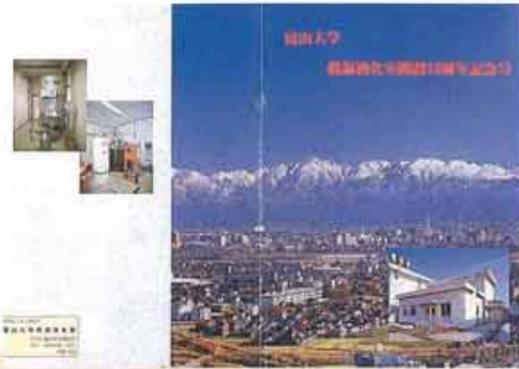
社会の出来事

- 1969. 1.19 東大安田講堂の封鎖解除
- 6.12 日本初の原子力船「むつ」が進水
- 7.20 米「アポロ11号」月面に着陸
- 1970. 2.11 東大宇宙航空研、日本初の国産衛星「おおすみ」打上げ成功
- 3.11 ジャンボ・ジェットが日本に初登場
- 3.14 大阪千里丘陵で日本万国博覧会（EXPO70）が開幕
- 3.31 日航機「よど号」赤軍派学生ら9人に乗っ取られる。9人は北朝鮮に亡命
- 6.23 日米安全保障条約、自動延長
- 7. 1 富山・大町間貫通ルート、立山黒部アルペンルートとなる
- 11.25 三島由紀夫、東京市ヶ谷の自衛隊で演説、割腹自殺
- 1971. 6.11 中教審答申「今後における学校教育の総合的な拡充整備のための基本的施策について」を発表（研究と教育の分離、管理運営制度改革など）
- 1972. 1.24 元日本兵横井庄一がグアム島で見られる
- 2. 3 第11回冬季オリンピック札幌大会開幕
- 2.17 富山市総曲輪商店街で大火、22店舗焼く

- 2.19 連合赤軍によるあさま山荘事件（～28日）
- 5.15 沖縄返還
- 1973. 2.14 日本、円の変動相場制へ移行
- 3.24 富山県日中友好県民会議が発足
- 10. 6 第4次中東戦争始まる
- 10.23 江崎玲於奈博士にノーベル物理学賞
- 第1次石油危機

本学のあゆみ ■ 1974[昭和49]~1978[昭和53]

- 1974. 4. 1 経済学部に経営学科を設置
- 6. 7 和漢薬研究所(資源開発部門、生物試験部門、臨床利用部門、病態生化学部門、化学応用部門)を附置
- 7.28 高岡古城公園の内堀汚濁の浄化法の調査研究、高岡市が深井教育学部教授に依頼
- 1975. 3.25 ヘリウム液化装置室が竣工
- 4. 1 保健管理センターを設置
- 4. 2 本学に富山医科薬科大学創設準備室を設置
- 4. 9 薬学部最後の入学式
- 10. 1 富山医科薬科大学が開学、富山大学に設置されていた創設準備室、創設準備委員会及び専門委員会を廃止(富山医科薬科大学に引継)
- 1976. 3.30 弓道場が竣工
- 4. 1 教育学部附属養護学校を設置
経営短期大学部経営学科に経営管理専攻、経営・法律専攻を設置
富山医科薬科大学の設置に伴い、昭和51年度以降薬学部の学生募集を停止
- 7.27 低温液化室を設置
- 9.17 計算センターを「計算機センター」に改称
- 1977. 2.10 本学薬学部出身古市氏の発表論文が「1975年度世界で最も多く引用された論文30点」(生化学分野)のトップとなる
- 5. 2 文理学部改組により人文学部及び理学部を設置
- 6. 3 日本海経済研究所が砺波の麻問屋神田家勘定帳などを保存調査
- 8.26 附属図書館所蔵菊池文書などから安政地震に関する貴重な資料が統出
- 10.14 日本海経済研究所が「富山売薬業史史料集」(復刻版)を刊行
- 1978. 1.30 第2体育館が竣工
- 3.18 世界的なヒトネ新種発見で小黒理学部教授らが国際会議に招待される
- 3.25 日本海経済研究所が史料集「麻問屋神田家勘定帳」を刊行
- 4. 1 大学院薬学研究科の学生募集を停止
大学院理学研究科数学専攻、物理学専攻、化学専攻及び生物学専攻(修士課程)を設置
理学部物理学科に、国内初の「レーザー物理学講座」を設置
- 6.17 和漢薬研究所を廃止(富山医科薬科大学へ移行)
- 12.19 清水教育学部講師に仁科奨励賞



低温液化室開設10周年記念号パンフレット 1986年



菊池文書(附属図書館所蔵) 1999年8月撮影



史料集「麻問屋神田家勘定帳」 1999年9月撮影



人文学部朝鮮語・朝鮮文学演習 1970年代

和漢薬研究施設
資源開発部



和漢薬研究施設資源開発部パンフレット



人文学部校舎 1977年頃



理学部2号館 1977年頃



計算機センター 1976年頃



保健管理センターでの血圧測定 1970年代



経済学部授業風景 1970年代



人文学部史学演習 1970年代



工学部工場実習 1978年頃

社会の出来事

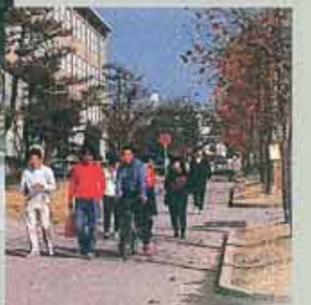
- 1974. 2.16 東大宇宙航空研、日本初の誘導制御衛星「たんせい2号」の打ち上げに成功
- 3.10 沖ノ島で元日本兵小野田寛郎発見
- 5. 4 女性登山隊がSM登頂に成功
- 7.16 草刈り十字軍による作業開始
- 10. 8 佐藤栄作元首相にノーベル平和賞
- 1975. 4.30 ベトナム戦争終結
- 5.16 女性登山隊、エベレスト初登頂に成功
- 7.20 沖縄海洋博開幕
- 10. 1 富山医科薬科大学開学
- 1976. 2. 6 ロッキード事件表面化
- 1977. 1. 「38豪雪」以来の大雪で富山県内で死者14人
- 5. 2 大学入試センター発足
- 7.14 日本初の静止気象衛星「ひまわり1号」打ち上げ成功
- 9.28 日本赤軍、ボンベイ上空で日航機をハイジャック
- 1978. 5.20 新東京国際空港が開港
- 8.12 日中平和友好条約調印



昼休みの女子学生 1978年頃



キャンパス内の女子学生 1978年頃



キャンパス内の男子学生 1978年頃

本学のあゆみ ■ 1979[昭和54]~1983[昭和58]

- 1979. 3.31 薬学部、薬学部附属薬草園及び大学院薬学研究科を廃止(富山医科薬科大学へ移行)
- 4. 1 経済学部経営法学科を設置
- 5.21 富山大学と富山医科薬科大学初の交流駅伝
- 6.13 柳田友道、学長に就任
- 1980. 3.15 事務局新庁舎が竣工
学生部及び保健管理センターの庁舎が竣工
- 3.25 日本海経済研究所が「続麻問屋神田家勘定帳」を刊行
- 4. 1 トリチウム科学センターを設置
- 5.23 富山大学短期高等教育機関(高岡)創設準備調査室を設置
- 6.27 将来計画委員会を設置
- 9.11 マンスフィールド駐日アメリカ大使来学、ヘルン文庫視察
- 11.27 日本海経済研究所が「第1次大戦後不況期間屋の経営記録」を刊行
- 1981. 3.25 トリチウム科学センターが竣工、当時ではトリチウム専門研究機関として我が国最大の規模
- 4. 1 大学院理学研究科に地球科学専攻(修士課程)を設置
- 4.17 富山大学短期高等教育機関(高岡)創設準備委員会を設置
- 7.17 自然観察実習センターを設置
- 7.25 藤井教養部教授らによる埋没林の本格調査始まる
- 8.23 富山大学のジャズバンド「ラブ・アンド・ピース・ジャズオーケストラ」、第2回大学ジャズコンテストでグランプリを受賞
- 9.19 人文学部考古学研究室が七尾の尼塚古墳(前方後方墳)を発掘
- 1982. 3. 5 第1回富山大学短期高等教育機関(高岡)創設準備委員会を開催し、創設準備室長に柳田友道(富山大学長)が就任
- 4. 1 教育学部に附属教育実践研究指導センターを設置
- 8. 1 藤井教養部教授、世界最古の埋没林研究成果をモスクワの学会で発表
- 10.14 楠瀬人文学部教授らが加賀藩の産業解明のため、肝煎文書を調査
- 1983. 1.17 教育学部附属教育実践研究指導センターが竣工
- 3.31 文理学部を廃止
- 4.20 サウジアラビア砂漠でのゴマ農園づくりに、小林理学部教授が協力
- 10. 1 富山大学短期高等教育機関(高岡)創設準備室を廃止、高岡短期大学開学
- 11.14 第25次南極地域観測隊員として川田理学部助手が参加(担当部門:雪氷・地学系)



ヘルン文庫を視察する駐日米大使 1980年9月



旧工学部キャンパス 1982年頃



旧工学部喫茶部 1982年頃



埋没林の一部 1999年8月撮影



教育学部附属教育実践研究指導センター 1983年頃



自然観察実習センター 1998年10月撮影



旧工学部第1寄宿舎 1982年頃



旧工学部ボイラー実験室 1982年頃



旧工学部寄宿舎玄関側 1982年頃



工学部新校舎(五福)起工式 1983年3月



56豪雪 1981年1月

社会の出来事

- 1979. 1.13 国立大学初の共通一次学力試験実施
- 1.17 第2次石油危機
- 5. 3 英でマーガレット・サッチャー、初の女性首相
- 1980. 1. デンマーク大使に高橋展子決定、初の女性大使
- 7.19 第22回オリンピック、モスクワで開催、日本は不参加
- 12.12 この年の自動車生産台数、1,000万台を突破、過去最高で世界第1位
- 1981. 1. 9 「56豪雪」、富山県内で死者12人
- 3. 中国残留孤児47人が初の正式来日
- 3. 臨時行政調査会初会合
- 3.20 神戸ポートアイランド博覧会(ポートピア'81)が開幕
- 4.12 米、スペースシャトル初打ち上げ
- 10.19 福井謙一(京大教授)にノーベル化学賞
- 1982. 5.20 英フォークランド諸島上陸作戦開始
- 7.24 富山県利賀村で世界演劇祭
- 1983. 5. 9 富山県置県100年記念式典
- 5.26 日本海中部地震
- 8.31 21世紀への留学生対策に関する懇談会、首相・文相に提言
- 10. 1 高岡短期大学開学
- 10.14 日本初の体外受精児が誕生



本学のおゆみ ■ 1984【昭和59】～1988【昭和63】

- 1984. 3.24 工学部新校舎第Ⅰ期機械・金属系が五福に竣工
- 5. 9 中華人民共和国遼寧大学と初めての大学間交流協定を締結
- 5.26 第5次地震予知研究計画(5カ年計画)日本海総合観測開始(京都大学・金沢大学・富山大学)
フランスの国立海外開発事業団の要請で、小林理学部教授サウジの砂漠をゴマで緑化
- 6.11 和崎人文学部教授日本語・スワヒリ語辞典出版作業開始(4年前には日本初のスワヒリ語・日本語辞典を出版)
- 6.26 国際リソフエア探査計画に広岡理学部教授が参加決定(5カ年計画)、日本列島の形成を探る
- 9.13 三寶人文学部教授(中国文学)が、遼寧大学との学術交流協定に基づく最初の海外研修に出発
- 9.27 工学部(第Ⅰ期一全工学科、機械工学科及び生産機械工学科)が五福へ移転
- 10. 2 田中教育学部教授、ミジンコの新種を日本で初めて発見
- 10. 5 遼寧大学との最初の交流教官の受入れ(工学部)仲玉林講師
- 11. 1 計算機センターを廃止し、情報処理センターを設置
- 1985. 1. 3 小林理学部教授の新品種ゴマ、不毛のタイ東北で試験栽培を決定、日米共同農業開発の第1号
- 1.28 工学部新校舎第Ⅱ期電気・化学系が五福に竣工
- 3.15 山口博人文学部教授が中国初の日本学大学院教授として訪中決まる
- 4.10 スペースシャトルの着水防水剤、對馬理学部助教授が開発
- 4.15 小林理学部教授が中国でゴマ試験栽培
- 6. 1 日仏日本海溝共同調査に竹内理学部助手参加
- 6.13 大井信一、学長に就任
- 9.30 工学部(第Ⅱ期一電気工学科、工業化学科、化学工学科、電子工学科及び事務部)が五福へ移転
- 11.24 小林理学部教授が夢のゴマ成功、6年がかり品種改良、国際学会で発表
- 1986. 3.25 第3体育館が竣工(国立大学では初めての高床式体育館)
- 4. 1 経済学部の学科改組により昼間主コース及び夜間主コースを設置(経営短期大学の学生募集停止)
大学院人文科学研究科日本・東洋文化専攻及び西洋文化専攻(修士課程)を設置
- 9. 1 富山大学国際交流事業後援会が募金活動(2年間)
- 10.11 小黒理学部教授に日本動物学会賞
- 1987. 2.10 第1回経営者・研究者交流会
- 2.21 小寺経済学部元教授に秩父宮記念学術特別賞
- 4. 2 日本化学会から林教育学部教授に化学教育賞
- 5.21 地域共同研究センターを設置
- 1988. 3.25 地域共同研究センターが竣工
- 4. 1 教育学部に情報教育課程を設置
- 7.15 第1回産学官交流 TOYAMAテクノフォーラム'88(地域共同研究センター)
- 8.26 人文学部考古学研究室が立山町上末窟跡調査、9世紀のかがみ出土
- 10. 2 深井教育学部教授が日本最古の地図を発見
- 11. 2 駐日アイルランド大使ジョン・ローナン氏来学、アイルランド生まれのハーンの蔵書(ヘルン文庫)視察、アイルランドの文化・文学について講演
- 11. 7 第1回先端技術研修(地域共同研究センター)(～16日)
- 11.15 人文学部語学文学科校舎が竣工
- 11.18 国際交流事業基金の創設



中華人民共和国遼寧大学と大学間交流協定 1984年5月



第3体育館(国立大学で初の高床式) 1986年



文化講演する駐日アイルランド大使 1988年11月



ヘルン文庫を視察する駐日アイルランド大使 1988年11月



求人票を見る学生 1985年頃



企業説明会 1986年頃



移転完了した工学部(五福) 1985年頃



地域共同研究センター 1988年3月



第1回経営者・研究者交流会 1987年2月



人文学部語学文学科校舎 1988年11月



寒中水泳 1984年頃



体育スキー実習(志賀高原) 1985年

社会の出来事

- 1984. 2. 1 臨時教育制度調査会設置を決定
- 2.13 植村直己マッキンリーにて遭難
- 3.18 富山空港がジェット化
- 5. 9 富山県・中国遼寧省、県省友好協定を締結
- 5.12 初の実用放送衛星「ゆり2号a」打ち上げ
- 6. 文部省の留学生問題調査協力者会議が「21世紀への留学生政策」の報告書を作成
- 8. 8 臨時教育審議会発足
- 8.13 文部省、大学設置基準・短期大学設置基準を改定(臨時定員増のための基準緩和)
- 1985. 3.16 科学万博つくば85開催
- 8.12 日航ジャンボ機群馬県御巣鷹山に墜落
- 9.12 国際学術連合会議「核の冬」で世界は破壊と報告
- 1986. 4. 1 男女雇用機会均等法施行
- 4. 3 国立大学協会、昭和62年度(1987年度)入試から旧7帝大を「A日程」「B日程」の2グループに分けるなど受験機会複数化を図ると発表
- 4.26 ソ連チェルノブイリ原発事故
- 9. 8 土井たか子、初の女性社会党党首に就任
- 1987. 3.14 南極捕鯨終わる
- 4. 1 国鉄が民営化、11のJR新法人でスタート
- 9.10 大学審議会設置
- 10.12 利根川進(米マサチューセッツ工科大学教授)にノーベル医学・生理学賞
- 1988. 1.12 日本医師会の生命倫理懇談会、脳死段階での臓器移植を認める最終報告書をまとめる
- 2.15 文部省大学入試改革協議会、共通1次試験に代え(新テスト)実施との最終報告書提出(同年7.29「大学入試センター試験」と命名)
- 3. 9 2000年国体、富山県での2週目開催内定
- 3.13 青函トンネル開業
- 4.10 瀬戸大橋が開通
- 6.18 リクルート疑惑発覚

本学のあゆみ ■ 1989[平成元]~1991[平成3]

- 1989. 2.28 地域共同研究センターで大学院教育講座を開設
- 4. 1 工学部電気工学科及び電子工学科を改組し、電子情報工学科を設置
- 6.14 永野教育学部教授、世界初の超電導垂直搬送実験に成功
- 11.13 赤羽理学部教授(電波物理学)紫綬褒賞受賞
- 11.21 富山県留学生等交流推進会議を設立(議長:大井富山大学学長、於富山第一ホテル)
- 11.28 黒田講堂が改築竣工
- 1990. 3.31 経営短期大学部を廃止
- 4. 1 工学部工業化学科、金属工学科、機械工学科、生産機械工学科及び化学工学科を改組し、機械システム工学科、物質工学科及び化学生物工学科を設置
- 4.17 渡邊教育学部助教授が緑藻類に新系統発見、国際シンポで発表
- 6. 8 トリチウム科学センターを廃止(3月31日)し、水素同位体機能研究センターを設置
- 7.23 日本学術会議第3部(経済・経営・商学)夏季部会を本学との共催で開催(於富山県民会館)
- 1991. 4. 1 経済学専攻科を廃止し、大学院経済学研究科地域・経済政策専攻及び企業経営専攻(修士課程)を設置
- 5.10 大学教育改善検討委員会を設置
- 6.13 理学部教授小黒千足、学長に就任
- 8.27 日本海経済研究所が富山県から「環日本海経済交流に関する調査研究」の委託を受ける
- 11. 4 第1回リスク・マネジメント富山国際会議(TRMC)を開催、地球的規模で「リスク・マネジメントの学問的及び実務的意義と役割」を研究する最初の会議(於黒田講堂)
- 11.22 自己点検・評価に関する検討委員会を設置



富山県留学生等交流推進会議設立
1989年11月



外国人留学生との懇談会(国立若狭湾少年自
の家) 1991年9月



幼稚園教員養成課程の実習 1989年頃



小学校教員養成課程の実習 1989年頃



中学校教員養成課程の実習
1989年頃



養護学校教員養成課程
の実習 1989年頃



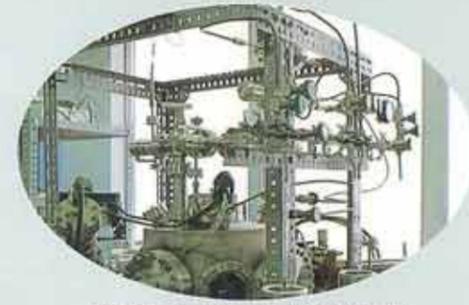
留学中の教育学部学生の実習 1989年頃



黒田講堂竣工 1989年11月



改装後の黒田講堂内部 1989年11月



金属ゲッターによる水素同位体分離装置
(水素同位体機能研究センター) 1990年頃



合気道部創立20周年記念演武会 1990年11月



クラブ活動 1989年頃



大学食堂棟書籍部 1989年頃

社会の出来事

- 1989. 4. 1 大型間接税「消費税」を実施
高岡法科大学開学
- 6. 4 中国、天安門事件
- 9. 1 文部省、大学院設置基準を改定
(大学院進学弾力化など)
- 11. 9 ベルリンの壁崩壊
- 1990. 1.13 第1回大学入試センター試験実施
(~14日)
- 4. 1 「国際花と緑の博覧会」(花の万博)
開幕、「地球環境博」として位置づけられる
富山県立大学及び富山国際大学開学
- 5. 文部省の「21世紀に向けての留学生政策に関する調査研究者会議」が初会合
- 10. 3 ドイツ統一、ドイツ連邦共和国の誕生
- 12. 2 東京放送の宇宙特派員秋山豊寛氏がソユーズ11号で日本人初の宇宙飛行
- 1991. 1.17 「湾岸戦争」始まる
- 5.17 大学審議会「平成5年度以降の高等教育の計画的整備について」など答申(大学の新增抑制)
大学審議会「大学院の整備拡充について」答申
- 6. 3 雲仙普賢岳大火山砕流
- 7. 1 文部省、大学設置基準を大幅改定、大学は4年を通して自由なカリキュラムを組めるようになった
- 11.25 大学審議会「大学院の量的整備について」答申(大学院生の倍増、履修形態の弾力化など)
- 12.26 ソビエト連邦消滅

本学のおゆみ ■ 1992【平成4】～1993【平成5】

- 1992. 3.26 大学教育改善検討委員会から答申
- 3.30 日本海経済研究所が「環日本海経済交流に関する文献目録」(第1輯)を刊行
- 7. 9 自己点検・評価に関する検討委員会から答申
- 7.20 富山地域リカレント教育推進事業「ビジネスマンのための情報科学」(於情報処理センター)、県内高等教育機関として初の企画(～24日)
- 7.31 工学部電子情報工学科実験研究棟が竣工
- 8.30 「ソーラーカーラリー・イン能登」(能登半島千里浜)工学部有志チームの「煤燐号」が初出場
- 9.12 第1回大学開放事業「夢大学 in TOYAMA」
- 9.25 教育改革整備委員会を設置
- 9.30 学生ジャズバンドの祭典「第3回ヤマノ・ビッグバンドジャズコンテスト」(於東京日本青年館)で軽音楽部(MMS)敢闘賞、個人賞部門ドラムス伊藤君2年連続最優秀ソリスト賞を受賞
- 11. 1 第45回全日本合唱コンクール全国大会(中学校部門)で教育学部附属中学校が「金賞」・「文部大臣奨励賞」を受賞
- 1993. 1.22 留学生指導相談室を設置
- 3.30 工学部化学生物工学科実験研究棟が竣工
日本海経済研究所が「環日本海経済交流に関する文献目録」(第2輯)を刊行
- 3.31 教養部を廃止
- 4. 1 人文学部人文学科及び語学文学科を改組し、人文学科、国際文学科及び言語文化学科を設置
理学部数学科、物理学科、化学科、生物学科及び地球科学科を改組し、数学科、物理学科、化学科、生物学科、地球科学科及び生物環境科学科を設置
4年一貫教育の実施
- 4. 8 庄子理学部助教南極観測隊の一員に、地下2,500mの水の層を分析
- 5.25 時澤工学部教授に「会田技術賞」
- 7.23 日本学術会議第5常置委員会がヘルン文庫視察
- 10.31 マレーシア工科大学と大学間交流協定を締結
第46回全日本合唱コンクール全国大会(中学校部門)で教育学部附属中学校が「金賞」を受賞
- 11.18 第3回全国産業教育フェア(文部省・富山県教育委員会等主催)に出展(於富山県民会館)(～21日)



ソーラーカーラリーに初出場した工学部有志チーム 1992年8月



全日本合唱コンクール全国大会で2年連続(1992年、1993年)金賞受賞の附属中学校合唱団



留学生指導相談室 1993年1月



マレーシア工科大学と大学間交流協定 1993年10月



大学開放事業「夢大学 in TOYAMA」 1992年9月



教養部階段教室 1993年頃



教養部銘板 1993年頃



教養部玄関ホール 1993年頃



教養部中庭 1993年頃



教養部正面玄関 1993年頃



ヘルン文庫を視察する日本学術会議第5常置委員 1993年7月



第3回全国産業教育フェアに出展 1993年11月

社会の出来事

- 1992. 1.22 脳死臨調が脳死を人の死亡とし、脳死移植を容認する最終答申
- 2. 2 欧州連合(EU)結成
- 3.14 東海道新幹線に「のぞみ」(時速270km)登場
- 5. 1 国家公務員完全週休二日制実施
- 6. 3 ブラジル・リオデジャネイロで「地球サミット」(環境と開発に関する国連会議)を開催
- 6.30 富山新港西埋め立て地に海王丸パークが完成
- 7. 1 日本海側随一の規模と設備を誇る富山市民球場(アルペンスタジアム)が完成
- 7.10 ジャパンエキスポ富山開幕
- 9.12 学校五日制始まる
毛利衛、スペースシャトルで宇宙へ
- 1993. 1. 欧州共同体の市場統合が発足
- 4.26 富山空港で初の国際定期航空路線、富山-ソウル便が就航
- 5.15 日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)が開幕
- 6. 9 皇太子、小和田雅子さんと御結婚
- 12.14 政府、コメの部分開放を決定



メインストリートの新入生サークル勧誘看板 1990年代

本学のおゆみ ■ 1994[平成6]~1996[平成8]

- 1994. 3.31 教育専攻科を廃止
- 4. 1 大学院教育学研究科学校教育専攻及び教科教育専攻(修士課程)を設置
大学院工学研究科(修士課程)を改組、電子情報工学専攻、機械システム工学専攻、物質工学専攻及び化学生物工学専攻(博士前期課程)並びにシステム生産工学専攻及び物質生産工学専攻(博士後期課程)を設置
教養教育に言語表現、情報処理及び総合科目を開講
- 4. 5 飛行船で遺跡調査、人文学部考古学研究室が国公立大で初めてフットバルーンを使う
- 4.25 駐日アイルランド大使ジェームス・シャーキー氏来学、ヘルン文庫視察
- 7. 2 中国・北京市(北京五洲酒店)で開催の日本留学フェアに初参加(〜3日)
- 8. 6 神岡・江島氏館跡で日本最大級の薬研堀、前川人文学部助教授が発掘指導
- 1995. 4. 1 「富山大学50年史」編纂のために年史編纂委員会を設置
- 9.25 富山大学と北海道大学合同観測班が富山湾海底地震観測
- 11.11 初めての「出張公開講座」を開催(於福光町福祉会館)(〜18日)
- 1996. 5.11 生涯学習教育研究センターを設置
総合情報処理センターを設置
- 5.17 開学50周年記念事業委員会を設置
- 5.29 田上教育学部助教授が全国初の地理情報システム、1000年の気候変動データを処理
- 6.26 経済学部校舎が改築竣工
- 7.18 水素同位体機能研究センターが国際トリチウムワークショップを開催(於黒田講堂)(〜19日)
- 7.30 富山大学と北海道大学合同観測班が2度目の富山湾海底地震観測
- 7.31 地域共同研究センターが増築竣工
- 11.28 日本海経済研究所がロシア、韓国、中国と国内の研究者を招き公開ワークショップ「日本海沿岸地域の国際化政策の現状と課題」を開催(於黒田講堂)



大学院教育学研究科修士課程設置 1994年4月



生涯学習教育研究センター 1996年5月



国際トリチウムワークショップ 1996年7月



ギターマンドリンクラブ演奏 1996年頃



赛中水泳 1995年頃



中国北京市での日本留学フェア 1994年7月



経済学部新校舎 1996年6月



ヘルン文庫を視察する駐日アイルランド大使 1994年4月



初めての「出張公開講座」 1995年11月



全国大学保健管理協会地方部会研究集会(本学当番) 1995年7月



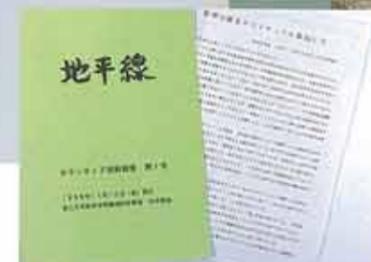
「富大マップ」 1996年頃

社会の出来事

- 1994. 1.17 米ロサンゼルス大地震
- 7.23 日本人初の女性飛行士向井千秋が宇宙生活を終え帰還
- 9. 4 日本初の本格的24時間空港、関西国際空港が開港
- 10.13 大江健三郎にノーベル文学賞
- 1995. 1.17 阪神・淡路大震災発生
- 3.20 地下鉄サリン事件発生
- 6. 2 米ドジャースの野茂投手がメッツ戦で初勝利、日本人の大リーグ勝利は30年ぶり
- 8.30 第2地銀最大の兵庫銀行と信用組合最大の木津信用組合が巨額の不良債権で経営破綻
- 9.18 大学審議会「大学運営の円滑化について」答申(学長、学部長等の権限強化)
- 1996. 3.29 薬害エイズ訴訟和解
- 4.20 全国都市緑化とやまフェア開催
- 7.20 病原性大腸菌「O-157」による集団食中毒の患者児童6,000人突破、富山県内にも及ぶ
- 10.29 大学審議会「大学教員の任期制について」答申
- 12.17 ベルーの日本大使公邸を左翼都市ゲリラが占拠



阪神・淡路大震災を起こした野島断層の調査 1995年



阪神・淡路大震災ボランティア活動報告書 1995年11月

本学のあゆみ ■ 1997[平成9]~1999[平成11]

- 1997. 2.18 附属図書館が増築竣工
- 4. 1 教育学部小学校教員養成課程、中学校教員養成課程、養護学校教員養成課程、幼稚園教員養成課程及び情報教育課程を改組し、学校教育教員養成課程及び総合教育課程を設置
工学部電子情報工学科、機械システム工学科、物質工学科及び化学生物工学科を改組し、電気電子システム工学科、知能情報工学科、機械知能システム工学科及び物質生命システム工学科を設置
大学院人文科学研究科(修士課程)日本・東洋文化専攻と西洋文化専攻を文化構造研究専攻と地域文化研究専攻に改称
大学院理学研究科(修士課程)に生物圏環境科学専攻を設置
- 6.13 工学部教授時澤貢、学長に就任
- 10. 1 環日本海地域研究センターを設置(学内共同利用施設、経済学部内に設けられていた日本海経済研究所を発展的に改組)
- 11.25 富山大学における大学開放の在り方を考えるフォーラム開催
- 12. 4 第1回国際学術シンポジウム「環日本海地域の発展と環境」を開催(環日本海地域研究センター：於黒田講堂)
- 12.10 総合情報処理センターが増築竣工
- 1998. 2. 4 開学50周年記念事業後援会設立
- 2.19 附属図書館が「越中国際波戸出村川合文書目録」及び「富山大学ヘルン文庫所蔵ラファエロ・ハーン(小泉八雲)関係文獻目録」を刊行
- 4. 1 大学院理学研究科を廃止、工学研究科を理工学研究科に改称
大学院理工学研究科に数学専攻、物理学専攻、化学専攻、生物学専攻、地球科学専攻及び生物圏環境科学専攻(博士前期課程)が設置され、従来のシステム生産工学専攻及び物質生産工学専攻(博士後期課程)を廃止し、システム科学専攻、物質科学専攻、エネルギー科学専攻及び生命環境科学専攻(博士後期課程)を設置
機器分析センターを設置
- 4.21 ロシア連邦モスクワ物理工科大学と大学間交流協定を締結
- 7.23 水素同位体機能研究センターが本学では初めての外部評価を実施
- 7.30 大学改革推進委員会を設置
- 9.10 人文学部新校舎(第Ⅱ期)が竣工
- 9.15 本学と大学間交流協定を締結している遼寧大学の創立40周年記念式典に時澤学長が出席及び講演
- 10. 2 教養教育に関する全学シンポジウムを開催(教養教育委員会主催：於黒田講堂)
- 10.15 フルブライト・メモリアル基金アメリカ人教員一行(20名)来学
- 11. 7 第51回全日本合唱コンクール全国大会(中学校部門)で教育学部附属中学校が金賞・浜松市教育長賞を受賞
- 1999. 1.18 第1回富山大学懇談会
- 3.10 国際交流会館が竣工
- 3.18 大学改革推進委員会から答申
- 3.19 新しく「富山大学の理念」を決定
- 3.31 「富山大学研究者総覧」を刊行
- 4. 1 教育学部学校教育教員養成課程及び総合教育課程を改組し、学校教育教員養成課程、生涯教育課程及び情報教育課程を設置
水素同位体機能研究センターを廃止し、水素同位体科学研究センターを設置
留学生センターを設置(留学生指導相談室は留学生センター内に設置)
学長補佐(2人)を設置
富山大学SCS(衛星通信大学間ネットワーク)事業開始
- 5.21 開学50周年記念先端技術特別講演会を開催(地域共同研究センター)
- 5.31 50回目の開学記念日
- 11.13 開学50周年記念式典を挙行(於富山国際会議場メインホール)



増築後の附属図書館 1997年2月



増築後の総合情報処理センター 1997年12月



大学院理工学研究科 1998年4月



第1回富山大学懇談会 1999年1月

「富山大学研究者総覧」 1999年3月



国際交流会館 1999年3月



留学生センター 1999年4月



環日本海地域研究センター 1997年10月



モスクワ物理工科大学と大学間交流協定 1998年4月



SCSパラボラアンテナ 1999年4月



生涯学習教育研究センター開催のフォーラム 1997年11月



中国遼寧大学創立40周年記念式典に出席した時澤学長 1998年9月



人文学部新校舎(左) 1998年9月



開学50周年記念外国人研究者による講演会 1999年5月



恵光学園でのボランティア活動 1998年



高速リンクづくりでのボランティア活動 1997年12月

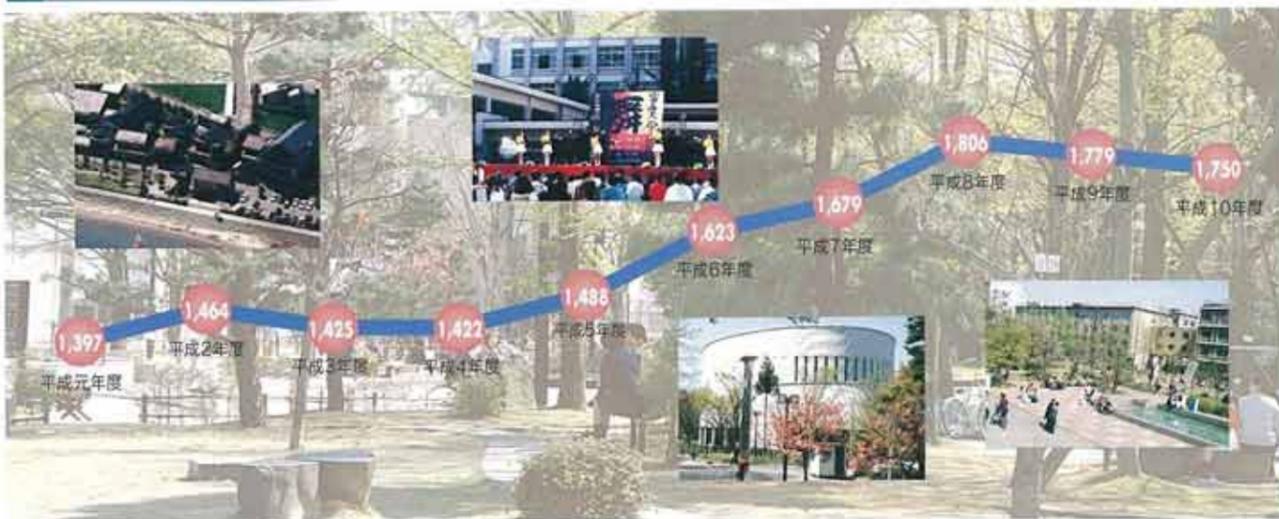


ナホトカ号重油流出事故でのボランティア活動 1997年1月

社会の出来事

- 1997. 1. 2 ロシア船タンカー「ナホトカ」沈没重油流出
- 2.23 英の研究所でクローン羊誕生
- 5. 6 富山医科薬科大学が医科系大学で初めて尊厳死を容認する末期医療の基本方針を決定
- 6.18 南極観測隊に初の女性越冬隊員2人が誕生
- 6-8 小矢部市桜町遺跡から縄文時代の貴重な出土品相次ぐ
- 7. 1 香港返還
- 8.31 英ダイアナ元皇太子妃が交通事故死
- 11.17 北海道拓殖銀行経営破綻
- 11.24 簿外債務などで経営危機に陥った山一証券が自主廃業を決定
- 12. 3 高岡市の瑞龍寺が富山県内初の国宝指定
- 1998. 2. 7 長野冬季オリンピック開幕
- 6.10 日本が初参加のサッカーW杯がフランスで開幕
- 8. 富山市の降水量観測史上最高
- 9.27 マグワイアが大リーグのホームラン記録70号
- 10.26 大学審議会「21世紀の大学像と今後の改革策について」答申
- 1999. 1. 1 欧州単一通貨ユーロが発足
- 1.26 政府の中央省庁等改革推進本部は2001年から中央省庁を1府12省庁に再編する省庁改革大綱を決定
- 1.29 地域振興券の交付が全国のトップを切って鳥根県浜田市で開始
- 3.12 公的資金投入、大手銀行など15行に正式承認
- 4. 3 NATO軍が初めてユーゴ連邦の首都ベオグラード市中心部を空爆
- 5. 1 本州・四国連絡橋の尾道・今治ルート「瀬戸内しまなみ海道」が開通
- 5.26 学術審議会「科学技術創造立国を目指す我が国の学術研究の総合的推進について」中間まとめ提出
- 5.29 佐渡トキ保護センターでトキの人工ふ化に成功

卒業(修了)者数



共同研究等受入件数

(民間との共同研究、科学研究費補助金、受託研究及び奨学寄附金の合計件数)



If winter comes, can spring be far behind?



初冬の立山連峰



初春の立山連峰

外国人留学生受入数



学術交流協定

●大学間交流協定 University

国名 Countries	協定大学名 Universities Associated	協定年月日 Date of Agreements
中国 China	遼寧大学 Liaoning University	1984.5.9 May.9.1984
マレーシア Malaysia	マレーシア工科大学 Universiti Teknologi Malaysia	1993.10.31 Oct.31.1993
ロシア連邦 Russian Federation	モスクワ物理工科大学 Moscow Institute of Physics and Technology	1998.4.21 Apr.21.1998
中国 China	大連理工大学 Dalian University of Technology	1999.11.12(予定) Nov.12.1999(expected)
中国 China	蘭州大学 Lanzhou University	1999.11.12(予定) Nov.12.1999(expected)

●学部間交流協定 Faculty

国名 Countries	学部名 Faculties	協定大学名 Universities Associated	協定年月日 Date of Agreements
中国 China	経済学部 Faculty of Economics	中国人民大学計画統計学院 Department of National Economic Management Renmin University of China	1996.12.10 Dec.10.1996
	工学部 Faculty of Engineering	山東工業大学 Shandong University of Technology	1997.9.16 Sep.16.1997
韓国 Korea	経済学部 Faculty of Economics	江原大学校経営大学 College of Business Administration Kangwon National University	1996.2.1 Feb.1.1996
ロシア連邦 Russian Federation	人文学部 Faculty of Humanities	イルクーツク国立言語総合大学英語学部 English Faculty of Irkutsk State Linguistic University	1996.3.28 Mar.28.1996
	経済学部 Faculty of Economics	極東国立総合大学附属東洋大学 Far Eastern State University Institute of Oriental Studies	1996.9.23 Sep.23.1996
インド India	工学部 Faculty of Engineering	ロモノソフ・モスクワ大学計算数学及び人工頭脳学部 Faculty of Computational Mathematics and Cybernetics of Lomonosov Moscow State University	1998.4.20 Apr.20.1998
	工学部 Faculty of Engineering	インド科学大学 Indian Institute of Science	1998.2.4 Feb.4.1998



We are thankful for your kindness.

写真・資料提供協力

本書に掲載した写真は、可能な限り関係者の方々のご了承を得ました。しかし本学の保存写真の中には、提供者不明のものもありましたが、本書刊行の意義から掲載させていただきました。厚くお礼申し上げます。

(敬称略、順不同)

- 団体名●
 - 富山大学人文学部同窓会
 - 富山大学理学部同窓会
 - 富山教育学窓会
 - 越嶺会
 - 仰岳会
 - 富山医科薬科大学薬学部資料室
 - 富山大学生協同組合
 - 北日本新聞(昭和40.4.15付掲載分)
- 個人名●
 - 柳田友道
 - 二神弘
 - 中川正之
 - 山崎佳夫
 - 橋瀬勝
 - 藤井昭二
 - 本田弘
 - 多々静夫
 - 奥貴晴弘
 - 宇井啓高
 - 近堂和郎
 - 対馬勝年
 - 山下三郎
 - 川田邦夫
 - 京田良志
 - 山崎高恵
 - 吉井英一
 - 吉崎正雄
 - 中川秀夫
 - 藤野廣春
 - 酒井弘
 - 館盛貞信
 - 白川美智子
 - 山西宣裕
 - 沢武保
 - 松川誠一郎
 - 奥田純子
 - 南正弘
 - 穴川美

- 参考文献●
 - 富山大学十五年史
 - 富山大学理学部同窓会創立30周年記念誌「雪紋」
 - 富山教育学窓会母校九十年の歩み—富山県教育のうつりかわり
 - 富山教育学窓会 母校創立百周年記念誌
 - 富山教育学窓会 会誌6~52
 - 富大附中三十五年—移りつつ変わらざるまことあれ—
 - 富大附中五十年—移りつつ変わらざるまことあれ—
 - 富山大学教育学部附属小学校百年史
 - 附属幼稚園創立90周年
 - 富山大学教育学部附属養護学校創立20周年記念誌あゆみ
 - 富山大学経済学部五十年史
 - 富山大学工学部史
 - 仰岳会創立50周年記念誌
 - 富山大学薬学部七十五年史
 - 富山医科薬科大学薬学部百年史
 - 富山大学関係卒業アルバム
 - 読売新聞、北日本新聞(昭和24.1.1~平成11.5.31)

- 朝日新聞、毎日新聞縮刷版(平成11.1.1~5.31)
- 「富山県の昭和史」(平成3.2.1発行 北日本新聞社)
- 「富山市史年表」(富山市史附表)(昭和41.12.20発行 北日本新聞社)
- 富山新聞創立70周年記念出版「ビジュアル富山百科」(平成6.2.1発行 富山新聞社)
- 「世界・日本・北陸100年あの日この時」(平成11.1.1発行 読売新聞社)
- 現代用語の基礎知識1992年版別冊付録キーワード・ウォッチング「日本1948~1992」(1992.1発行 自由国民社)
- 「昭和・平成家庭史年表」(1997.12.15発行 河出書房新社)
- 「昭和・平成史年表」(1997.12.10発行 平凡社)
- 富山県空港管理事務所(便宜供与)
- 中国北方航空公司(便宜供与)

あ と が き

富山大学年史編纂委員会(学内設置、平成七年)は目下『富山大学50年史』を編纂中であるが、大部なものなので完成までなお時間を要する。そこで別途、『目で見る富山大学の50年』を編纂し、開学50周年記念式典出席者、教職員に配布することとした。小冊子とはいえ、大学の沿革を一覧できるような写真が学内に取りそろえられていたわけではなく、年表づくりとそれに合わせた写真を収集するのに一年余りを費やした。その間、大学教職員、退職者、卒業生の皆さまから貴重な写真資料を提供いただき、編纂委員一同心よりお礼申し上げる次第である。

当初、「永久保存したくなるような写真アルバム」編纂を目標として出発したが、それがどれほど果たせたか、ご批判いただければ幸いである。なおこの写真集の一部は9月11・12日両日にわたり開催された「夢大学 in TOYAMA'99」において、附属図書館企画「写真展」として展示し、多くの人々の参観を得た。また、今回採録できなかった写真は、『富山大学50年史』の中でぜひ活用したいと考えている。今、富山大学の50年史を回顧しつつ、21世紀への飛躍を夢見ていただければと思う。

1999年(平成11年)11月13日

富山大学年史編纂委員会
委員長 小谷 仲 男

21世紀を翔る
目で見る **富山大学の50年**
富山大学開学50周年記念写真集

1999年(平成11年)11月13日発行

編集
富山大学年史編纂委員会

事務
富山大学年史編纂室

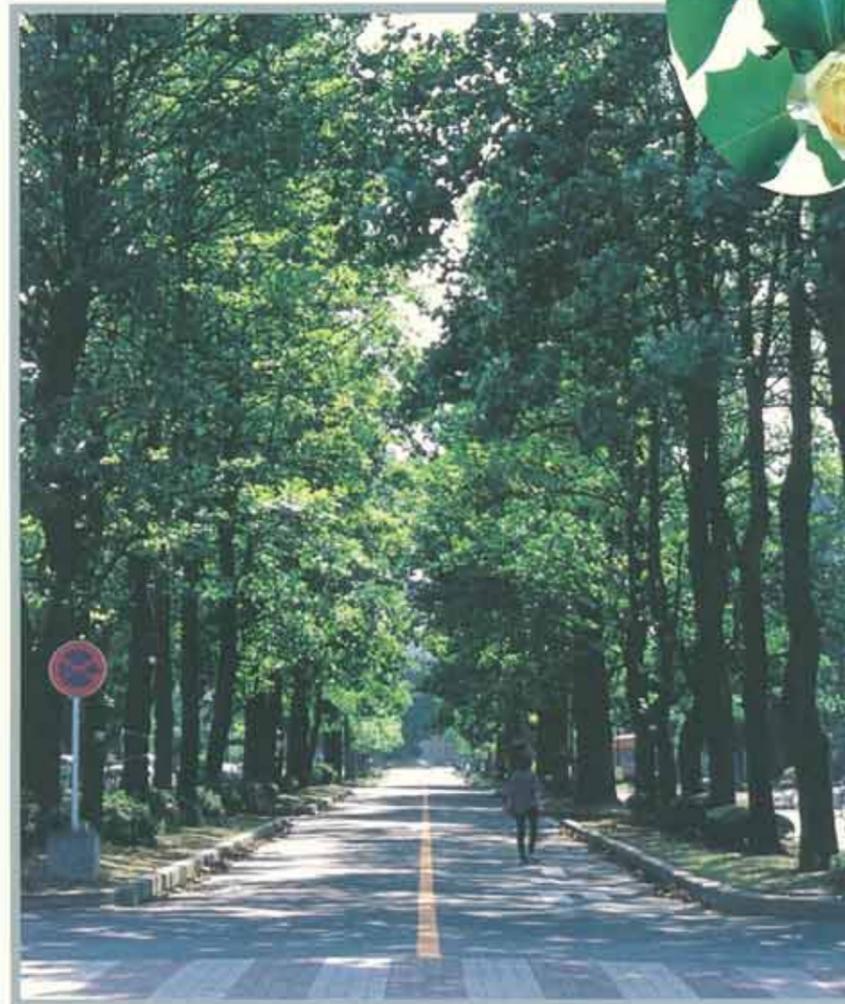
発行
富 山 大 学

〒930-8555 富山市五福3190
TEL 076-445-6011
ホームページ<http://www.toyama-u.ac.jp/>

印刷・製本
株式会社チューエツ



ユリノキの花冠



富山大学キャンパス内のユリノキ並木